

真空注液装置



本装置はセルの真空乾燥および電解液の注入装置です。最大300mm□サイズまで処理可能です。また加熱による真空乾燥、不活性ガス導入等での加圧下においても注液を行なうことができます。

本装置のディスペンサーは可変できる一定圧のパルスエアにより、シリンジからの液体の吐出を制御します。パルスエアのパルスON-OFF間隔、ON-OFFを繰返し継続する時間の設定をすることができます。

真空注液装置仕様

- 到達圧力 10Pa以下※常温・無負荷時
- 加熱温度 最高100℃
- 試料寸法 最大300mm□
- 真空室寸法 内寸500mmW×435mmD×350mmH SUS304 酸洗処理
- 注液機構 シリンジ部:3mLシリンジ+φ0.5mmノズル(液垂れ防止弁付)
制御方式:エレクトロ/ニューロマティック方式
吐出圧力設定:0.05~0.7MPa(シリンジ種により値は異なります)
吐出時間設定・吐出間隔設定タイマー付
- 加熱機構 シースヒーター温度制御方式
K熱電対、サイリスタユニット、デジタルPID温調計
- X軸ステージ機構 移動距離:±22mm
- パネル台 移動距離:ストローク150mm
- 真空排気系 油回転ポンプ:240L/min[50Hz]
- 真空計 ブルドン管真空計/ピラニ真空計
- ユーティリティ電気:AC200V三相8kVA
寸法:600mmW×600mmD×(1650)mmH